

トークイベント
近代住宅の保存と継承を考える
ご案内

日時 2018年7月16日(月・祝)
午後6時～8時(18:00～20:00)

会場 国際文化会館 room 403&404
東京都港区六本木5-11-16



ノイトラ自邸のガーデンハウス (撮影：田中厚子)

プログラム

ご挨拶 鱒坂徹(鹿児島大学教授)

レイモンド・ノイトラ氏が語る父、リチャード・ノイトラの住宅とその保存
解説/通訳 田中厚子(建築史研究者/芝浦工業大学建築学部特任教授)

ノイトラ氏(1939～)は、建築家リチャード・ノイトラ(1892～1970)の三男としてロサンゼルスに生まれ、ハーバード大学で疫学の博士号を取得後、大学や米国内外の研究所およびカリフォルニア州公衆衛生局で調査研究に携わってこられました。その一方、自宅であるノイトラ自邸(VDL リサーチハウス 1933-40, 1963)をはじめとする、父が設計した住宅の保存に取り組み、ノイトラ自邸は、2017年にアメリカの National Historic Landmark に指定されました。今回のレクチャーでは、1930年代から60年代にかけて日本の建築界に大きな影響を与えたノイトラの住宅の現状と保存計画についてお話いただきます。また、ノイトラの住宅の特徴である大きなガラス引戸の発展について、長年調査されてきた成果もお話いただきます。

◎申込方法

下記Eメールアドレスに、①氏名 ②連絡先(ご住所、急な連絡が可能な携帯電話番号)ならびに、お差し支えなければ ③ご所属/ご職業をご記載の上、お申込みください。

Eメールアドレス：jyutakuisan@gmail.com

※お申込みは、メール先着順にて承り、お申込み確定後、返信申し上げます。お返事までにしばらくかかることもございますが、3日たっても返信がない場合、お手数ですが、再度、本メールアドレスあるいは、お電話にて(03-3721-1044 住宅遺産トラスト)お問合せください。

参加費 2000円(HHT会員1000円)飲み物付

お話終了後、会場にてお飲み物を用意しておりますので、ノイトラさんを囲み、皆様でご歓談いただきましたら幸いです。このような楽しい機会を重ね、近代住宅の保存と継承へのネットワークが結ばれていくことを願っております。

主催：一般社団法人住宅遺産トラスト